

森のおくりもの 6月



イラスト：ゆうま君（東四郎丸小学校 1年）

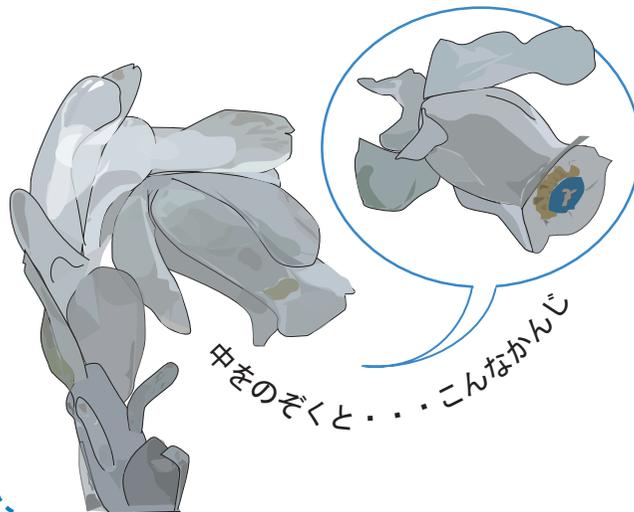
深緑が鮮やかな季節となりました。暑くもなく、寒くもなく、森を歩くのには特に気持ちの良い季節です。自然観察センターの周囲ではウグイスがしきりに鳴いており、里山の気分をいっそう盛り上げてくれております。そんな里山の雰囲気太白山自然観察の森で楽しんでみませんか。（菊池）

地面から白銀の竜が！ 「ギンリョウソウ」



薄暗い森の中で、雨のしずくをまとい銀色に輝く竜のような姿は、とても素敵で虫でなくても目をひきます。横から見ると、なるほど「銀竜草」と名がつく訳だと納得。ずっと見ていると、透明感のある白い葉と花がだんだん、うつむいた花嫁（ジュンブライド?）にも見え、どちらにしてもステキなんです。

菌と仲良しな生活



葉緑素がないので、全く光合成ができません。根に菌をくっつけ、その菌を分解して栄養を得ています（腐生植物）。花の中をのぞいて見ると、花卉の内側に毛がたくさん生えていて、外見からは想像がつかないほどに青い色をしためしべが目立ちその周りを黄色いおしべが取り囲んでいます。まるで目玉おやじのようですよ。花が終わると上を向くので目玉おやじが目立ちます。

キズものにしたのはだれ？

花についている茶色いキズ。それは虫が蜜を吸いに来た証拠です。種子を作るために虫を呼んで花粉を運んでもらわなくてははいけませんから花の奥には蜜も用意してあります。

体の重たいマルハナバチの仲間が花を足場に爪で引っ掛けてとまり、蜜を吸います。その時に花粉をハチにくっつけて運んでもらっているのです。



【レンジャー：黒川 周子】

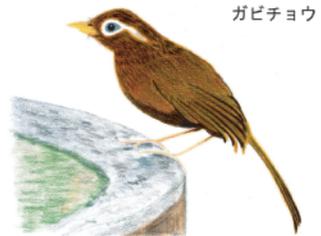
* 別名「ユウレイタケ」・・・葉緑素をもたないことから「キノコ」の仲間と思われ、半透明な白とうつむいたその姿から呼ばれました。

6月の生物ごよみ

植物

	5月		6月		7月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
ヒメシャガ					
ギンリョウソウ			(ヒメシャガ)	(ギンリョウソウ)	
サワフタギ			(サワフタギ)		
ホオノキ				(ホオノキ)	
ガマズミ				(エゴノキ)	
エゴノキ			(ガマズミ)		

5月8日の出来事でした。たまたま3レンジャーで事務所にいた時、外から突然ガビチョウのけたたましい鳴き声が響いてきました。いつものさえずりとは全く違う声で『ゲーッ、ゲーッ、ゲーッ』と何かに怯えている様子です。よく見るとガビチョウ以外にもシジュウカラ、ヤマガラ、メジロまでが事務所の窓から見えるイチイの木の繁みで騒いでいます。



ガビチョウ

そこには前からガビチョウが繁殖のため巣を作っていたらしく、みんなその巣の周りで何かに攻撃している様子です。「もしかしてヘビ？」かと思い急いで近くに行ったら、案の定、アオダイショウがガビチョウの巣に入り卵を食べているところでした。私たちが見に行った時は全ての卵を食べ終えアオダイショウは満足げの顔をしていました。

自分の巣を狙われたガビチョウが卵を守るのはわかるのですが、他の小鳥までが連合軍となり応戦していたのにはびっくりです。

ガビチョウは本来、日本にいる鳥ではなく中国から持ち込まれ『カゴぬけの鳥』として定着し、特定外来種に指定されています。

私たち日本人には厄介とされているガビチョウですが、森に住んでいる野鳥たちにとってはアオダイショウは共通の敵なのでしょう。外来、在来種の壁を越え、野鳥たちがアオダイショウという共通の敵に向かって協力して応戦しているように、私たち人間も人種を越えて協力し合うことが大切だと学んだ一コマでもあったのでした。

【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー発 木もれびBLOG



略してコモブロ 第1回『御法度です』

木々の葉が背伸びをしきって、透きとおる太陽光線が爽やかです。樹間に響くホトトギスの鳴き声も緑色に染まっているよう♪ …などと、のんびり始めるつもりでいた第1回「コモブロ」ですが、なんということでしょう、初めから少し重い話題を書くことになってしまいました。

先月号にヒメギフチョウが人為的に放蝶された疑いがあるという記事が載りましたが、その直後の4月28日、「ヨシの湿地」にトウホクサンショウオの卵が置き去りにされました！ 自然観察の森周辺では、普通3月初旬に卵がみられますので、それ自体がおかしなことです。✓

また、トウホクサンショウオのお母さんは、大雨が降っても流されない場所や直射日光が当たらない場所を選んで産卵しますが、ヨシの湿地にあった卵は太陽がサンサンと当たっていました。ノ



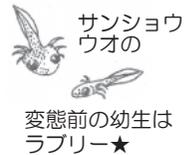
トウホクサンショウオの卵

そして5月3日の大雨で流されてしまい、今はどこにあるかわかりません。

これらのことから、この卵は自然に産卵されたものではなく誰かが放流していったものと推理することができます。✓

さらに今度は「カモの池」で人が飼育した形跡のあるクサガメが見つかりました。ああ、なんということでしょう。自然観察の森は自然のままの生態系を観察する所です。もともと住んでいない生き物を人為的に持ち込むと、ちょっと自然がおかしくなっちゃう可能性があります。

自然のものは自然のままにしておこうよ、と開園以来ずっと伝えてきたはずなのに、まだまだ伝わっていないんだなあ～、という気持ちです。せっかく1回目の記事なんだから、ホントは季節にあった爽やかな話を書きたかったです。



サンショウウオの

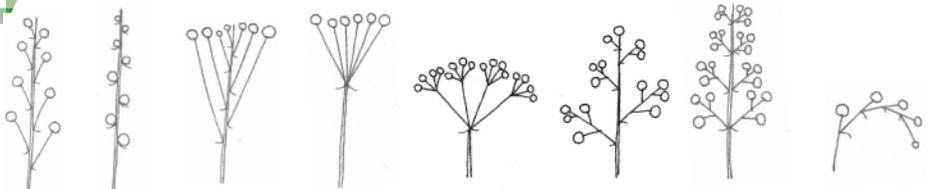
変態前の幼生はラブリー★



でも目の前で動くものは全部エサ。

自然観察 基礎のきそ

自然観察を続けていると、わかったつもりになり、じっくり観察することがおろそかになりがちです。このコーナーでは、あえて図鑑の一番最初に載っていることを取り上げます。初心に帰りもう一度おさらいしてみましょう。今月は『花の付き方』。



総状花序 穂状花序 散房花序 散形花序 複散形花序 円錐花序 集散花序 サソリ形花序

【レンジャー：高橋 千尋】

※クサガメは今、自然観察センターで飼育しながら里親を募集しています。関心のある方はセンターに顔を見にきてあげてください。お待ちしております。

深緑の森を歩こう！

あんなにたくさん咲き誇っていたカタクリやスミレ類が咲き終わったのはだいぶ前のことに思える今日この頃です。

しかし、新緑から深緑へと装いが移り変わった太白山自然観察の森では、これからもヤマボウシやエゴノキなどの樹木の花をはじめ、多くの花々を見ることができます。

その中でも、ホウノキの花は白く大きく見ごたえがありぜひ多くの皆さまにご覧いただきたいところですが、たいへん残念なことに、非常に高いところに咲くため下からではなかなか見ることができません。そのため、皆さまに案内するにはたいへん気が引ける花となっております。

さて、ニホンカモシカの見撃情報が最近たくさんあり、出会える確率がたいへん大きくなってきているように思います。偶然というか運というかカモシカ頼りではありますが、たいへん期待できそうです。ぜひ会って感激してみてください。ちなみに、先月の日曜日のガイドウォークでも遭遇し、参加者全員が感動の対面を果たしております。



「森でリラックスするカモシカ」

ところで、その日曜日の定例のガイドウォークですが、この5月から月一回、「館長と森を歩こう」とのサブテーマのもと新しい試みをはじめております。これは、定例の日曜日のガイドウォークのうち月一回の予定で、私と参加者のみなさんとで「森のさんぽ」をしながら、森の楽しみ方を模索するイベントとして定着させたいと考えております。本格的なガイドウォークを望まれる方々には、はなはだご迷惑かとも思いますが、新たな森の楽しみ方を皆さまと共に考え一緒にスタイルをつくりあげていければと考えております。

したがいまして、さしあたり進め方は特に定めず、まずはいろいろなことを試し模索することからはじめたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

【館長：菊池正行】



6月の催し



「おはよう野鳥かんさつ」

6/9(土)

6:30~8:00

*申し込みの必要はありません。

初夏の雑木林を歩きながら
野鳥たちのくらしを観察します。

【持ち物】

動きやすい服装
観察用具、雨具など

★双眼鏡を無料でお貸しします。

「新緑の太古の森をたずねて」

6/16(土)

10:00~15:00

申込み⇒6/6(水) 午前9時から電話で

緑濃くなった鉤取山国有林を自然観察ハイクします。
おべんと持参で気持ちよい森を散歩しませんか。

【定員】20名

【持ち物】

動きやすい服装、昼食
飲み物、雨具など

「キッズ昆虫たんけん隊」

6/23(土)

10:00~12:00

申込み
⇒往復はがき
またはメールで

木の上、葉のうら、石の下。いろんなところに
かくれてる虫を探して観察しちゃおう!

【定員】15名

【持ち物】

動きやすい服装
観察用具、雨具など

①イベント名②〒住所③氏名フリガナ④TELと返信先
を記入の上、6/12(必着)までに観察センターへ



★子供だけが参加できるイベントになります。保護者の方は別にレンジャーが園内をご案内します。

日曜
は

「ガイドウォーク」の日!

6月のテーマは『森と昆虫たち』です

実施日: 3日, 10日, 17日, 24日

10:00~11:30 & 13:30~15:00

※申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

※24日午後は館長がご案内する
「館長と森を歩こう」です。

表紙の絵を募集します。

里山や自然に関するものを描いてね!
レンジャーからのプレゼントがあるよ!!

6月の休館日

4日, 11日, 18日, 25日

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2012年6月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

*「社のひろば」のURLにカラーで「森のおくりもの」が載っています。→<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>